

# 早く安心な日常へ 接種年内完了目指す

## 抗原簡易キットの常備や保育士・教員へのワクチン優先接種も

市は、新型コロナウイルス対策として、ワクチンの接種と連動した検査体制の強化を行い、集団感染等を防止するため、子どもの居場所で働く保育士・教員等へのワクチン優先接種を行う。また、自分で検査できる抗原簡易キットを各施設に常備することで、体調がすぐれないと思ったらすぐに検査を行うことができるようにする。配布部数は、保育所・幼稚園へ計4600個、各小中学校へ計3500個。

その他、検査対象を拡大し、教員や保育士に1人でも感染者が判明して休校(園)となった場合、濃厚接触者だけでなく職員全員および在籍クラスなどで接触が認められる子どもに対してもPCR検査を実施するなど、対象も拡大する。

### ★市内の感染者状況等

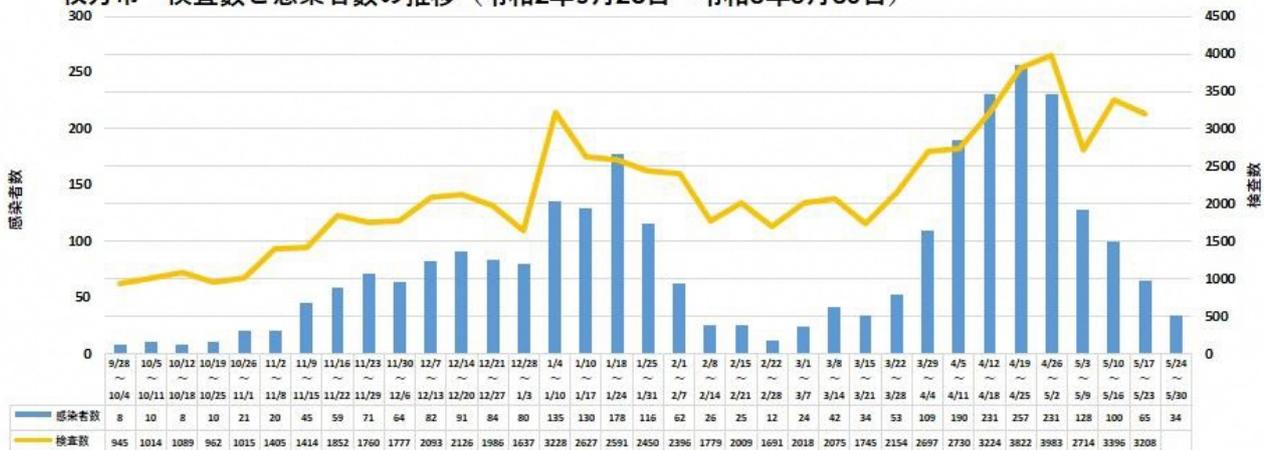
#### ●市内感染者の状況 (6月3日時点)

感染者の状況	
現在療養者数	43人 (うち重症者4人)
退院・解除累計	2959人
死亡累計	87人
感染者累計	3089人

#### ●感染者数の推移 (5月30日時点)

感染拡大の第3波では、高齢者施設などのほか、保育所でも集団感染が発生。現在、感染者数は減少傾向にあるものの、引き続き対策の徹底が必要。

枚方市 検査数と感染者数の推移 (令和2年9月28日～令和3年5月30日)



【注】感染者数は、大阪府の発表を基に記載しています。また、「検査数」については、後日変更する場合があります。空欄は集計中となります。  
 ※11月16日以降は、大阪府の公表変更に伴い、新規検査数から再検査数等も含むに変更。また感染者数は、再陽性者数も含むに変更されています。  
 また、令和3年2月22日実施の大阪府の公表データ修正に対応しています。

## ●市立ひらかた病院コロナ対応病床の使用状況（5月30日時点）

当初26床だった対応病床を4月7日から42床に増やしたが、第3波時には満床状態に。現状は50%程度まで落ち着いている。

市立ひらかた病院コロナ対応病床(軽症・中等症患者の入院受け入れ)の使用状況（令和3年3月8日～5月30日）



※大阪府フォローアップセンターによる調整を経て府内の患者が入院。  
 ※対応病床数は感染拡大のフェーズに応じ府からの要請に基づいて4月7日以降42床(陽性患者38床、疑似症患者4床)を確保。  
 ※毎月曜日更新

## ★ワクチン接種について

★市内接種対象者は16歳以上で約34万6000人(12歳からへの拡大は国の方針に合わせて迅速に対応)。5月7日から65歳以上の高齢者の接種予約を開始し、5月17日から接種を開始。接種数は、現時点において目標としていた1日約2100回を上回る1日約2200回となっている。なお、6月3日からは、7月、8月接種分(6月追加分)の第2回予約をスタートしている。

★市内接種会場は、集団接種会場6カ所(6月までは3カ所、7月以降3カ所追加)と市内医療機関124カ所。

★市内の接種実績(6月2日時点)

対象者	対象者数 (回数[A])	接種実績 [B]	接種率 (B/A)
医療従事者等	11,991人 (23,982回)	20,594回	85.87%
高齢者(施設入所者含)	113,612人 (227,224回)	32,223回	14.18% ※(20.26%)
高齢者施設等の従事者	5,995人 (11,990回)	2,294回	19.13%
その他	214,716人 (429,432回)	—	—
<b>合計</b>	<b>346,314人 (692,628回)</b>	<b>55,111回</b>	<b>7.96%</b>

※高齢者の接種率( )内の割合は、想定接種率(高齢者7割)から算出したものです。

★インターネット利用が困難な高齢者の予約をサポート

①システム予約サポート教室の開催（5月31日、6月1日、2日）

自分のスマホやタブレットを利用して予約方法を学ぶ教室。枚方寝屋川消防組合本部で開催。3日間の参加者数 388人

②高齢者予約サポートセンターの設置（6月3日、4日）

職員約300人を動員し、その場で来場者のワクチン予約を完了。ひらかた仙亭、市民会館大ホールロビー、津田生涯学習市民センター・楠葉生涯学習市民センター・南部生涯学習市民センターの5カ所で実施。

6月3日の参加者 約2500人

③ワクチン接種予約の方法動画の配信（5月31日～）

予約完了までの手順や予約の確認方法、注意点など、スマートフォンから見た実際のシステムの画面でナレーション付きで紹介

◆ワクチン接種の今後のスケジュール



◆抗原キット常備・PCR検査の徹底

自分で検査できる抗原簡易キットを各施設に勤務する人向けに配布。すぐに検査できるように常備する。保育所・幼稚園へ計4600個、各小中学校へ計3500個。また、教員や保育士に1人でも感染者が判明して休校（園）となった場合、濃厚接触者だけでなく教員全員と、在籍クラスなどで接触が認められる子どもに対してもPCR検査を実施する。

## **★市民らが出演する応援動画や手洗い・消毒動画の配信も**

市は、枚方市一丸となってコロナ禍を乗り切る応援動画を制作するため、市公式 SNS 等で出演者を募り、20 組 30 人が応募。それぞれが撮影した前向きな言葉をつないでいくメッセージ動画を編集し、市公式ユーチューブなどで公開している。また、市 PR 大使ら 11 組 16 人が感染予防を呼びかける動画も公開しているほか、保健所職員と連携し、「正しい手洗いの方法」や「正しい消毒」などの動画も公開中。

## **★応援基金への寄付状況**

今後の継続的な支援を進めるため、寄付を財源とする「枚方市新型コロナウイルス感染症対策応援基金」を令和 2 年 5 月 15 日に設立。寄付金を広く募っている。6 月 3 日時点での申込は 8 1 0 件、3 8 6 1 万 6 1 0 3 円。

---

### <問い合わせ先>

(新型コロナウイルス全般) 危機管理室 電話 072-841-1270、FAX072-841-3092

(ワクチン接種) ワクチン接種対策室 電話 072-841-1221 代、FAX072-840-4496

(応援基金) 健康福祉総務課 電話 072-841-1228、FAX072-841-3039

(動画) 広報プロモーション課 電話 072-841-1258、FAX072-846-5341

必ず乗り越える。

コロナの先へ



枚方市

枚方市テーマソング「この街が好き」プロモーションビデオより